

# 長岡高専の学生、職員30名が、吉津トンネル及び五十母川橋(磐越自動車道)と白根ポンプ場建設の工事現場を見学しました。

北陸建設界の担い手  
確保・育成推進協議会

平成27年10月22日(木)に長岡工業高等専門学校環境都市工学科の学生25名と教職員5名が、磐越自動車道の付加車線建設工事である吉津トンネル及び五十母川橋と日本海側最大規模のニューマチックケーソン工法による新潟市白根水道町ポンプ場建設の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、トンネル工事等の現場に触れて、建設界の魅力や社会基盤の役割について知ってもらうものです。

参加者からは、吉津トンネルの現場でインバート施工や坑内を歩きながら完成までの一連の施工過程を見学できて非常に勉強になった。ニューマチックケーソンの実際の現場を見ることができて良かったなどの感想がありました。

この現場見学会を通して建設界や建設工事のスケールの大きさについて、より関心を持っていただけたらうれしく思います。

実施機関：(一社)日本建設業連合会北陸支部



ポンプ場概要説明状況



トンネル坑内の施工状況



1期線と沿う五十母川橋の橋脚の施工状況



トンネル坑口の「化粧木」



トンネル坑口(福島側)で集合写真を撮影



ポンプ場構築状況を足場上から見学



五十母川橋の橋脚の施工状況